

ものを積極的に発見し、調査をし、これを吸い上げて、地域の人々と手を取り合って明るい方向を持ってゆくのが民生委員の仕事ではなからうかと思えます。そういうことを考えますと、我々はおお一層、勉強せねばならないと思えますね。

松岡 私が世話しているお年寄りは、社会の片隅に置かれて、独りで世の中を歩かれている人ばかりでございます。時に気持ちが通じ合わず残念に思うこともありますが、ただ真心をもって接する以外にはお年寄りの気持ちの中に這っていくことはできません。

私達にしてみても一度は通らねばならない道ですし、大変に勉強になります。これからの家庭奉仕員というのは、ただお掃除や縫物、身の廻りの世話だけでなく、本当の相談相手になる。心から話し合えるという心の交流が大事だということをこの頃感じております。そのためにはますます専門的な、技術的な研修が必要です。県でも積極的にやっていた



離婚ですね、さらに災害、交通事故によって母子世帯となるなどさまざまな事情があります。

また最近相談が多くなってビックリしています。それは雇用問題です。母子世帯の殆んどが日給で働いているという実態があります。社会保険もないという非常に不安定で身分保障のないところで母子世帯が働いており、いろいろな問題が発生しております。とりわけ中高年齢者の雇用状態は極めて悪く、現在の不況下でどんどん失業者が出ています。まず一番弱いところに皺寄せがきています。

西 身障者の場合、親の過保護ということが福祉を考えるのに災いしているという問題があります。しかしたとえ親が過保護であっても近隣のよき理解があれば解決したんではないかというケースもあります。

先般、全県下市町村に私共の協会ですら途失明者で学校に行っていない文盲の調査をお願いしました。ところが、三十二人の方がいらっしやるわけです。なぜ学校にいかないかと調べてみますと、親が



だいて感謝してはいますが、私達自身も互いに勉強することです。それから地域の一人一人が、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄りに親身になって接すること、そして、私達家庭奉仕員の仕事や制度の主旨をもっと皆さんに理解してもらいたいと思えます。

### □施策の周知徹底を

西 私は身障者の相談員という立場ですが、また、民生委員もやっています。先程、弱者という言葉ができましたね。私は弱者の最たる者は身障者だと思います。平均して所得も低いし、職場の開拓にも多くの障害があり、養護を必要とする人も沢山あります。

このような人達の上のしかかってきている現在の社会情勢というものは確かに厳しいものです。ただ身障者の方の中にも、福祉とはいなくも、あるいは不平不満を述べることで自己満足しているといった風潮があるように思えます。

でもこれは、誰れの責任かと言うと、ひとり身障者の責任ではありません。やはり社会全体の責任でありますし、また行政側にも責任の一端はあります。なぜかと言うと、それ等の人達の更生意欲を燃えさせたせるような手が打たれてこなかったということです。表向き打た

自分の子供一人位は養えるという考えがあるわけです。

すすめなかった社会も悪いけれども市町村の教育委員会も悪いと思えます。またそれをほったらかしにした福祉サイドもどうかと思うんです。

私はそういう子供達を救わなければ本當の身障者の福祉というものは解決しないんだと思っています。

### □個人の問題

丸岡 孤独感といった問題も一つの福祉の問題だとすれば、このような話があります。

知識階級の人で金も財産もある老人が孤独感といった非常な寂しさを感じていると言っていました。

考えてみますと福祉というのは必ずしも金や物がすべてではない。そのあとは矢張り心の問題になってくるだろうと思えます。

この人は老人クラブに入っていないしやらないということですので、おすすめて入会されて喜んでおられますが、こういう話を聞くにつけ今後老人クラブをますます充実していかなければならない。また老人の仲間づくりによってこういう心

れておっても身障者まで届いていないわけです。福祉施策をよく知らしめることが、まず先決だということですね。そして、国も県も市町村もこんなに一生懸命になっているんだということを知らせる必要があると思えます。

今、県では身体障害者総合施設の建設が具体化されていますね。身障者の機能

## ◆激動期に見る福祉の諸問題

部長 弱者の救済とか、社会的公正の是正ということが今日言われております。このような社会情勢下で核家族化の進行、扶養意識の低下、社会連帯感の欠如など、特に石油危機以来、いろんな問題がでてきています。

ここでは、第一線の皆さんが体験された具体的な問題をお話いただきたいんですが。

### □地域社会の問題

西 とにかく、一人歩きできない老婆だということですね。車が多いことが一番ですがね。歩道に物が置いてある、側溝のフタがない、車イスの方は歩道に段差があつて登れない、横断歩道が渡れないとか、いろいろあります。

県市の方でも考えていただくことになってはいますけど、ともかく、身障者の

の問題に対処していかねばと考えています。

現在、老人クラブは県下に二千五百、会員十三万四千人、六十歳以上の方の半数以上が加入しておられます。

西 先程、雇用問題がでておりましたが、身障者の場合も同じです。最近健康体の方でも失業され、就業の機会がないという時代ですから身障者の就職はなおさら困難なようです。

もう一つの悩みの種が結婚問題です。

回復やリハビリエーションの場合、あるいは社会復帰のためのリハビリテーションセンターの建設がその内容のようですが、このような対策を身障者皆さん期待しているわけですから、充分な利用を皆さんで考えていくべきです。

私たちは身体の不自由さや精神的な苦しみを克服しながら主体性をもって生きようとしているのですから、ただ同情だけでなく、心からの良き理解者、皆さんの地域社会といった観点に立った行政施策が望まれます。

重石 社会福祉にとって物価の上昇、インフレが一番こわい問題です。石油危機以来、老人、身障者、児童などを収容する社会福祉施設では入所者の処遇や暖房用燃料に大変心配しました。

保田 いつの時代でもそうであったかも知れませんが、母子世帯の生活は、一般勤労世帯と比べて厳しいものがあります。

そして今日の社会情勢を反映して母子家庭になる原因が多様化していることです。従来は、戦死、戦没死によるものが高い割合を占めていたのが、現在はい

### 施設からの言

明日の社会  
福祉のため  
に

養護施設

慈愛園子供ホーム園長

潮谷 総一郎

地域福祉の組織的活動への理解は漸次普及しているといわれている。地域福祉の増進は家庭と個人の福祉を促進し、家庭と個人の福祉の充実が地域福祉を高揚するものである。その相関関係において重要視されることは誰もが福祉獲得の努力をしなければ、福祉は他者が造り備えてくれるものではないということである。

ややもすれば、福祉は人がつくってられるもの、政府や地方自治団体が用意してくるもの、政治が、行政者が、と他者への依存が強く、自らが福祉への努力をしなければならぬと気づく者は少ない。先ず、自らが福祉増進に参加し、住民全員参加の組織活動へと展開しなければならぬ。

その住民全員参加に呼応し、その実現を手伝うのが政府であり、地方自治体で



▲熊本市婦人ボランティア学級施設奉仕班の老人ホーム慰問